

会 議 録

会議の名称	平成29年度第6回「忍川・酒巻導水路」川の国埼玉はつらつプロジェクト推進協議会
開催日時	平成30年1月10日(水) 開会：午後1時30分 閉会：午後3時30分
開催場所	行田市役所305会議室
出席者(委員)氏名	自治会連合会：栗原委員、橋本委員、佐藤委員、高澤委員、羽鳥委員 地域活動団体：今村委員、小林委員、田口委員、五十幡委員、柿沼委員 埼玉県：藤井委員、木田委員、中村委員、塚本委員、富岡委員 行田市：樋口会長、岩田委員、蓮沼委員、吉田委員、立原主査(代) 鈴木主事(代)、五十幡委員、田島委員、加藤委員、中島委員
欠席者(委員)氏名	自治会連合会：江原委員 地域活動団体：湯澤委員
事務局	企画政策課：川上主幹、守主任、福田主事
その他関係機関出席者	埼玉県行田県土整備事務所：落合主任 埼玉県水辺再生課：柴山技師 埼玉県加須農林振興センター：竹尾技師
会議内容	・川の整備計画について ・その他
会議資料	・会議次第 ・資料1 皿尾橋下流右岸の整備について【行田県土整備事務所】 ・資料2 酒巻導水路の植栽について【加須農林振興センター】 ・資料3 酒巻導水路レイアウト図【加須農林振興センター】 ・参考資料 平成29年度川の国埼玉はつらつプロジェクト事業PRについて(報告) ・参考資料 ぎょうだ夢まつりアンケート集計結果 ・参考資料 行田ふれあいポタリング&ウォーキング2018
その他必要事項	傍聴者 なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	1 開会 2 あいさつ 樋口会長 3 議事
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議は原則公開となっている。 ・それでは、本日の議事に入る。議事の（１）「川の整備計画」について、事務局から説明をお願いする。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・忍川の三角スペースについて、維持管理を行う地元自治会の意向を事前に確認させていただいた。対象箇所のゴミ拾いについては協力いただけるが、四阿や植栽については避けてもらいたいとの回答をいただいた。
行田県土	<p style="text-align: center;">＜資料１により説明＞</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は三角スペースの活用方法及び舗装の色について意見があればお願いします。
今村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・上流と下流の両側にベンチを置いてもらえればと思う。この場所は電車の写真を撮る人が集まるのではないか。地元自治会が植栽は難しいという意向があるのであればそれを尊重すべきであると思う。
橋本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・緑があるのとないのではイメージが異なる。コヒガンザクラや中低木であればそこまで落ち葉はないと思うので、地元自治会の方にご協力いただければと思う。
五十幡委員 (地)	<ul style="list-style-type: none"> ・木陰が作れない状況であるが、自治会の意向もある。自治会のご理解をいただければ植栽をお願いしたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・いつまでにベンチや植栽の配置が決まればよいか。
行田県土	<ul style="list-style-type: none"> ・３月末までにはある程度の配置が決定できればと思う。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽については意見が出たので、自治会と再度交渉を行う。舗装の色については何か意見があるか。
	<p style="text-align: center;">＜サンドベージュという意見が多数＞</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・色はサンドベージュで決定させていただく。

加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ベンチの設置については、来年度以降に設置する予定であるが、片側のみの設置で検討させていただきたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> 植栽については、もう一度地元自治会へ本協議会で出た意見を伝えて調整させていただくことでよろしいか。
<p><異議なし></p>	
議 長	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、酒巻導水路の植栽及びレイアウトについて加須農林振興センターから説明をお願いする。
加須農林	<p><資料2及び資料3により説明></p>
高澤委員	<ul style="list-style-type: none"> なぜL型の水路ではないのか。水が管理しやすいように統一性があつたほうがよいのではないかと思う。自然環境に配慮するのはよいが、草が生えてくるほか、コケが生えてきてスジができるため、見栄えが良くないのではないかと思う。管理用水であるため、忍川と同列に考えないほうがよいのではないか。また、ハマギクの件であるが、ハマギクとコヒガンザクラを別々ではなく一緒に植えたほうが見栄えが良いと思う。なお、長野地区ではブロック一つ一つに里親制度の導入を検討している。
加須農林	<ul style="list-style-type: none"> 第5回協議会において、委員皆様の総意により、生物や環境に配慮した水路とすると決定したことから、それを基に今回の案を提示させていただいた。
田口委員	<ul style="list-style-type: none"> 土木工事には進歩がある。従来のコンクリートで覆われたものだけでなく、石を積んでも水量を確保できると思う。こうした試みを持つことが非常に重要であるので、是非推進してもらいたい。
高澤委員	<ul style="list-style-type: none"> 石積みやブロック張りは耐久性にも課題がある。断面形状が変わり、草が生えて汚いという問題が出てくると思う。過去に地元から苦情が出ており、川のまるごと再生プロジェクトなどで整備を行い、美化を進めてきた。環境に配慮するということは他の河川で行ってもらいたい。また、酒巻道水路は用水であり、冬期には水がなくなってしまうので、生物は死滅してしまうのではないか。
加須農林	<ul style="list-style-type: none"> 農業用水を無理なくロスなく流すということが前提であるが、土地改良法で定められているような環境に配慮した設計を行った。また、先ほども説明したとおり、第5回協議会においても環境に配慮した護岸形式という意見があったことから、今回の案を提示させていただいた。

議 長	・石積みやブロック張りがL型よりも耐久性で劣ることはあるのか。
加須農林	・工法により、耐久性に不利な部分もあるかもしれないが、正確な耐用年数については申し上げられない。
橋本委員	・農業用水などは国の方針でも環境に配慮することになっており、今後の工事箇所は片側を石積み工法にしても問題ないのではないか。また、ハマギクについては、非常に良い案であると思う。花が咲いた後、約1m程度まで伸びるので、年に1回程度剪定をする必要がある。
事務局	・第5回協議会において、長野中学校側を延伸することを決定しており、反対側については、環境への配慮という意見を踏まえ、今回の護岸の工法を提示させていただいた。また、元荒川上流土地改良区と加須農林振興センターで事前に調整も行っているため、今回の案で協議を進めたい。
柿沼委員	・土地改良区としても環境に配慮する必要がある。また、実際に土地改良区にあった提案は、石積みに近い形の階段護岸がよいのではという話をした。国道125号バイパスまで延伸するという提案となっているので、安価な形で少しでも距離を延伸してもらいたいと考えている。過去に下流で実施したような石積み工法で、階段状にしてもらえればよいと思う。
高澤委員	・管理者が良いのであればそれでよいと思う。
議 長	・石積みの工法で進める形でよいか。樹木の間隔について意見はあるか。
橋本委員	・10m間隔で別々に植えるほうがよいと思う。
加須農林	・待避所を設置するに当たり、多少間隔が変更する可能性がある。
議 長	・10m間隔で整備することを決定させていただく。
佐藤委員	・今回のレイアウトを見ると西側に遊歩道がないが、設置できないのか。
議 長	・前回の協議会で東側の道路を国道125号バイパスまで延伸することを優先するという形で決定させていただいている。
佐藤委員	・西側の道路はあまり利用されていないが、両方整備してもらえればありがたい。
加須農林	・遊歩道は設置せず、代わりに砂利舗装を行う予定である。

佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、なぜ西側に遊歩道がないのかという話になると思う。
加須農林	<ul style="list-style-type: none"> ・安価にすることで、東側道路の遊歩道を国道125号バイパスまで延伸することを優先するというで決定させていただいた。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・せっかく整備するのであれば、両側の整合性を図ったほうがよいのではないかと。
高澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・川の整備は水辺再生100プラン、川のまるごと再生プロジェクトと続いているが、今後、川のはつらつプロジェクトの次の事業は予定しているのか。
木田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・未定であるが、県内他市町村でも期待が大きいので検討していければと考えている。全国的にも先駆けとなっている事業であり、国の事業としても進めているため、今後も様々な事業が展開されていくと思われる。
高澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が継続する可能性があるのであれば、両岸をL型に整備し、西側は舗装せず、今後のために遊歩道の用地を残しておくのはどうか。石積み工法の場合、今後、西側に遊歩道は整備できなくなるのではないかと。予算に縛られると何も言えないが、平等性を考えれば両岸の整備を行ったほうがよいと思う。また、東側を延長し、西側の整備を全く行わないという方法はとれないのか。今後、整備する際に、遊歩道の用地を確保しておくのとおかないのでは全く違う。
岩田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・酒巻導水路は、川のまるごと再生プロジェクトの際に埼玉県配慮により、長郷橋から上流に振り替えた経緯があり、起点から約100mの両岸を整備していただいた。今回のはつらつプロジェクトでさらに延伸することとなった。管理する元荒川上流土地改良区及び自治会からの希望により、国道125号バイパスまでの延伸を目標として始まったものである。両岸の長さは1.4kmあり、予算が倍かかってしまう。そのため、左岸側を優先し、確実に国道125号バイパスまで整備するというで前回の協議会で決定されている。
高澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは今回の予算で、L型と石積みそれぞれの工法でどこまで整備できるのかを提示してもらいたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・酒巻導水路の整備内容については、再度協議会を開催し、協議させていただく。次に、議事の(2)「その他」とあるが、事務局から何かあるか。
事 務 局	<p><参考資料「平成29年度川の国埼玉はつらつプロジェクト事業PRについて(報告)」、「ぎょうだ夢まつりアンケート集計結果」及び「行田ふれあいポタリング&ウォーキング2018」により説明></p>

議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、委員の方から何かあるか。
今村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年11月に未来に残したい行田八景ウォーキングを実施し、忍川の本プロジェクトの対象区間を歩いた。その際に、国道17号バイパスの高架下が狭くなっているが、歩くことができる。整備はできないのか。
行田県土	<ul style="list-style-type: none"> ・おそらく天端が通れるようになってきていると思うが、通せるように整備することは安全性の面から難しい。土の部分に砂利を敷くか、平らに均すなどの対応は可能であると思うので、現地を確認させていただく。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・以上をもって、第6回川の国埼玉はつらつプロジェクト推進協議会を閉会する。 <p style="text-align: center;">< 閉 会 ></p>